



佐賀県 株式会社石橋果樹園

『温州みかんを東南アジア、北米へ』

【主な品目】

温州みかん

【主な輸出先国・地域】

香港、ベトナム、カナダ

【輸出取組の概要】

- ◆ 海外旅行好きがきっかけで輸出に興味を持ち、経済成長が著しいベトナムを視察した際に果物市場の大きさと果物消費が多い食文化を実感したことから、輸出への取組を開始。
- ◆ 輸出開始にあたってASIAGAPを取得し、現在は日系スーパー 2 社へ販売。

【輸出実績】（令和3年度より輸出開始）

	輸出額(万円)	輸出量(t)	出荷時期
令和6年度	1,400	35	10～3月
令和5年度	1,500	37	
令和4年度	160	4	

【効果があった取組】

実際に現地を訪ね、自身の目で市場調査を行ったことで、市場参入しやすいターゲット国を自ら選定し、輸出開始に結び付けることができました。

【取り組む際に生じた課題】

- 1 県内に輸出商社が少なく、取引先を探すのに苦労した。
- 2 船による海上輸送は、長時間を要し、みかんに傷み（腐敗）が発生する。
- 3 個人輸出では、輸出先国の残留農薬規制等の情報や、輸出に活用できる補助事業等の情報を得るのが難しい。

【生じた課題への対応】

- 1 GFPへの登録による情報提供や県庁への相談を通じて紹介された商談会等に参加。
- 2 海上輸送向けに、貯蔵が効き日持ちする、晩生品種に変更。
- 3 植物防疫所等に相談、相手国の植物検疫条件及び残留農薬基準に対応。また、九州みかん輸出拡大協議会に参画、情報を取得し梱包資材強化やCAコンテナ利用による品質向上の実施。

【対応の結果】

- 1 参加した商談会で県外の輸出商社と繋がり、契約を結ぶことができた。
- 2 輸送中の痛み等による廃棄はあるが、リスクは軽減できた。
- 3 九州産温州みかんとして出荷を実施。

【今後の課題・展望】

- 1 輸出量150トンを目指し、生産量の確保に地元園地の拡大と輸出拡大先として台湾や米国を予定。また、更なる輸出先としてEU、マレーシア、ドバイを検討中。
- 2 ベトナムでの生産を計画。現地視察を終えて、栽培に適した候補地の選定を依頼中。

【活用した支援・施策】 令和6年度大規模輸出産地モデル形成等支援事業

【ウェブサイト】 <https://fruits-garden.jp/>

【連絡先】 担当者名：代表取締役 石橋健一 TEL：090-3197-0121



(株)石橋果樹園の皆さん



輸出している温州みかん



現地での販促イベントでPR